

大塚化学 徳島工場の新たなコージェネレーションシステムが稼働

グループ各社への電力と蒸気供給の最適化により年間約 8,000 トンの CO₂ 排出量を削減

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)の子会社である大塚化学株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:土佐浩平)は、自社の徳島工場で新たなコージェネレーションシステムが 1 月から稼働しましたのでお知らせします。

当社徳島工場では、2007 年にコージェネレーションシステムを導入し、隣接する大塚グループ各社の工場へ電力と蒸気を供給することで、エネルギーの効率利用を推進してきました。当社のコージェネレーションシステムは、都市ガスを燃料として発電し、その際に発生する熱を工場の冷暖房や蒸気として有効利用しています。今回、グループ各社が協業することで、多様な事業を行う各社の工場の稼働状況に合わせた最適な需給バランスの発電制御、および電力と蒸気の供給を行う新たなシステムが稼働しました。これにより、エネルギー利用効率の最大化を図ります。本システムの導入によって、大塚グループの CO₂ 排出量は年間 8,000 トン*₁(約 3,000 世帯の年間の排出量に相当)*₂削減される見込みです。



大塚グループでは、環境への取り組みにおけるマテリアリティ(重要項目)を「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ウォーターニュートラル」と特定し、「カーボンニュートラル」においては、「2028 年に CO₂ 排出量 50%削減*₃」を目標に掲げ、再生可能エネルギーの積極的な導入や効率的なエネルギー利用を推進しています。

大塚グループは、今後も新しい技術やソリューションの活用を通じ、グループ一体となって環境負荷低減の取り組みを進め、脱炭素社会ひいてはサステナブルな社会の実現への貢献を目指してまいります。

*₁ : 現行システムの 2019 年データとの比較

*₂ : 家庭部門 CO₂ 排出量より算出

*₃ : 大塚グループ 2017 年比。

大塚化学株式会社 (Otsuka Chemical Co., Ltd.)

設 立 : 1950 年 8 月 29 日
資 本 金 : 50 億円
代 表 者 : 代表取締役社長 土佐 浩平(とさ ひろよし)
本 社 所 在 地 : 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
従 業 員 数 : 512 名(2023 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 化学品の製造販売

大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)

設 立 : 2008 年 7 月 8 日
資 本 金 : 816 億 90 百万円
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 CEO 樋口 達夫(ひぐち たつお)
本 社 所 在 地 : 〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地
従 業 員 数 : 154 名(2023 年 12 月 31 日現在)
内 容 : 持株会社